様式第 3 号(第 9 条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和 6 (2024) 年度 みよし悠学カレッジ推進会議		
開催日時	令和 7 (2025) 年 2 月 1 2 日 (水) 午前 1 0 時 3 0 分から午前 1 1 時 1 3 分まで		
開催場所	図書館学習交流プラザ「サンライズ」2階 多目的室		
出席者	<p>【委員】</p> <p>廣田 匡則、佐野 鎮代、澤田 鈴子、佐々木 憲夫</p> <p>【欠席者】</p> <p>渡辺 文、井上 将成</p> <p>【傍聴者】</p> <p>なし</p> <p>【事務局】</p> <p>二子石生涯学習推進課長、伊豆原生涯学習推進課副主幹、 竹谷生涯学習推進課主査</p>		
次回開催予定日	令和 7 (2025) 年 7 月		
問合せ先	<p>みよし市教育委員会生涯学習推進課 竹谷</p> <p>電話 0561-34-3111</p> <p>ファックス 0561-34-3114</p> <p>メール gakushu@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録全文 ・ 議事録要約 	要約した理由	
審議経過	<p>協議・報告事項</p> <p>1 令和 6 (2024) 年度悠学カレッジ事業報告</p> <p>2 令和 7 (2025) 年度悠学カレッジ事業の計画概要</p>		

会議録

<p>典礼</p>	<p>本日はお忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。 定刻となりましたので、ただいまから「令和6(2024)年度第2回みよし悠学カレッジ推進会議」を開催いたします。開会に当たりまして、初めに礼の交換を行います。恐れ入りますが、皆さま御起立をお願いいたします。一同礼。よろしくお祈いします。 委員の渡辺様からは御欠席の御連絡をいただいております。井上様はご到着され次第、席に着いていただこうと思ひます。 なお、本会議は公開とさせておりますが、今回、本日の会議への傍聴の申出はありませんでした。 それでは次第に基づき、会議を進めさせていただきます。初めに、生涯学習推進課長の二子石から、御挨拶させていただきます。</p>
<p>二子石課長</p>	<p>はい。皆様、改めておはようございます。本日寒い中、お越しいただきましてありがとうございます。 みよし悠学カレッジはみよし市生涯学習推進基本計画の中で、『学びあい ふれあい 支えあい 人と人がつながる生涯学習』を実現するために、各大学、文化協会、いきいきクラブ、受講者の代表の方々から、幅広い意見をいただいております。本日も皆様から忌憚のない意見をいただければと思ひますので、どうぞよろしくお祈いいたします。</p>
<p>典礼</p>	<p>それではお手元の次第に基づき進めさせていただきます。まず、次第2の「座長選出」に移ります。資料3の「みよし悠学カレッジ推進会議に関する要綱」を御覧ください。要綱第4条に「推進会議の参加者は、その互選により推進会議を進行する座長を定めることができる。」となっております。どなたか、座長をお願いするにあたり御意見はございませんか。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>はい、事務局さんに一任したいと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>澤田委員、 佐野委員</p>	<p>お祈いします。</p>
<p>典礼</p>	<p>ありがとうございます。事務局に一任という声をいただきましたので、僭越ながら事務局から案を出させていただきます。座長には、大学等の代表であります「廣田委員」にお祈いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>はい、異議ございません。ぜひお祈いいたします。</p>

<p>典礼</p>	<p>ありがとうございます。異議もないようですので事務局案のとおり座長を「廣田委員」にお願いさせていただきます。恐れ入りますが、廣田委員に正面への御移動をお願いいたします。</p> <p>それでは早速議事に入りたいと思います。議事の進行は、要綱第4条に基づき、座長にお願いすることとなりますので、廣田委員に議事の進行をお願いいたします。</p>
<p>廣田委員</p>	<p>はい。議事が円滑に進むよう、皆さんの協力をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の議題は1枚目にありますとおり3の議題(1)令和6(2024)年度悠学カレッジ事業報告と、(2)令和7(2025)年度悠学カレッジ実施事業の計画概要ということになっております。</p> <p>まず初めに、議題(1)の令和6年(2024)年度悠学カレッジ事業報告につきまして、説明を事務局の方からお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。生涯学習推進課竹谷と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、お手元の資料1をご覧ください。最初にひとつ申し訳ございませんが資料の訂正がございます。資料1の右側にあります円グラフの中に分類名27.3%と書いてあると思いますがけれども正しくは、60代が27.3%となりますので申し訳ございませんが、分類名を60代に訂正をお願い致します。</p> <p>それでは、資料1に基づき、令和6年度悠学カレッジ事業報告として生涯学習講座実施状況について令和7年1月末現在とはなりますが、説明をさせていただきます。本市での講座開催については、生涯学習推進基本計画に基づき、多様化する住民ニーズや、社会情勢の変化に対応した生涯学習講座を、生活創造、国際理解、情報通信の各分野で、春夏、秋冬、新春の3期に分け、開催しています。なお、大学との連携公開講座につきましては、今年度は、春夏講座として、3講座開催いたしました。この資料の左側の表は、季節ごとに実施した講座数、受講者の数をはじめ、講座の実施状況となります。この表の上から4つ目の表に「全体」と書かれた表がございます。令和6年度における新春講座は、現在開催中でありますので、あくまでもまだ見込み数字とはなりますが、年間で177講座の実績となる予定です。令和5年度は、163講座開催いたしましたので、前年度との比較では、14講座増加となりました。なお、申込者数につきましても、令和5年度2,301人から令和6年度は2,521人となり220人の増加、受講者の数は、令和5年度1,632人から令和6年度は1,745人となり113人の増加となりました。</p>

	<p>次に、資料右側上段の年代別申込者数と書かれた表とグラフをご覧ください。例年どおりではございますが、50歳代が28.4%と最も多く、次いで60歳代が27.3%、70歳代が18.8%となっており、依然として高齢者の受講割合が高く、50歳以上の年齢層が、全体の77.9%を占める状況となっています。</p> <p>次に、その下段の行政区・地区別申込者数の表を御覧ください。本市には25の行政区があり、地域で区分すると「おかよし」「きたよし」「なかよし」「みなよし」に分類されます。</p> <p>行政区ごとの申込人数は、表のとおりとなりますが、申し込みが多かった行政区は、三好丘の10.4%が最も多く、次いで新屋7.9%、三好丘旭7.5%の順となっています。また、一番下の表は、地区ごと及び市外の申込人数となります。これも例年どおりでございますが、おかよし地区が、44%を占めており、極めて高く、サンライズの存在します、なかよし地区の25.9%を大きく上回っている状況でございます。</p> <p>資料1の説明につきましては、以上のとおりとなります。よろしくお願いたします。</p>
<p>座長（廣田委員）</p>	<p>ありがとうございます。では御説明をいただいた内容につきまして、何か御質問等ありましたらお願いいたします。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>最後に御説明いただいた、地区ごとの申し込み者の割合のところなんですけども、おかよし、きたよし、なかよし、みなよしというような地区で申しますと、前回、それぞれのお住まいの方の人口をお聞きしたところ、おかよしは36%の方が住んでおられて、受講申込みの方は44%ということで、人口割合でいうと、すごく多いですね。</p> <p>ちなみにきたよしは14%の方が住んでおられるんですけど10%、10.7%の申込み、なかよしが38%の方が住んでおられるんですけど25.9%ということで、そういう意味では、おかよしは住んでおられる方から見ると、この申込み者数というのはすごく多いなということですね。あと資料の、おかよしとか更にその次の年はみなよしの方でも、是非人口に対して、どれぐらいの申込みかということも、引き続き解析をしていただければいいなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>人口を申し上げます。本来は表の中に入れておるべきでしたが、みよし市全体で61,408人になります。先ほど佐々木委員のお話ありましたが、その内おかよし地区の人口が22,450人、きたよし地区の人口が8,787人、なかよし地区の人口が23,766人、みなよし地区の人口が6,405人になります。なかよし地区の人口が一番多いということになります。</p>

佐野委員	<p>それに加えて割合の分類ですけどやっぱりその年齢層というのは特におかよしのほうは言葉悪いんですけども、お若い方だとかそういう方がいらっしゃらないかなとも思いますけれども、そういう具合で講座を受けられるような方も高齢の方が多いのかもしれません。今、さんさんバスで、よくどちらでも出かけれるようになっておりますけれども、特におかよしの方が、どのような年齢層の割合で講座をうけられる方がいらっしゃるのかなって思いました。</p> <p>最後に説明していただいた行政区・地区別申込者数の話なんですけど、なるべくたくさんの方がみよし市の中で参加してほしいと思うんですが、このおかよし、きたよし、なかよし、みなよしで、人口に対する受講者の割合はどうなっているのか、その辺がわかりましたらお願いします。</p>
事務局	<p>おかよし地区の方が若い人が多いとか、特にそのような偏った傾向はなく、全体的にやはり高齢者の方が多いと思います。</p>
佐野委員	<p>そうですか。このなかよしの場合ですと、やはりそんなに差はなくて平均して、同じ年齢、年齢層の方がうけていらしゃると実感しております。</p>
事務局	<p>年代別申込者数によりますとやはり、若い方というよりもどうしても50歳代以上の方が多く印象ではあります。</p>
佐野委員	<p>わかりました。</p>
座長（廣田委員）	<p>他にはいかがでしょうか。</p> <p>それでは、続きまして、議題2の「令和7(2025)年度悠学カレッジ事業の計画概要」について事務局から御説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、資料2を御覧ください。令和7年度みよし悠学カレッジ事業の計画概要について説明をさせていただきます。冒頭で課長のあいさつにもございましたが、この事業は「第3次みよし市生涯学習推進基本計画」の基本理念『学びあい ふれあい 支えあい 人と人がつながる生涯学習』に基づいて、講座開催に取り組んでおります。1番の基本方針としては、次に掲げる6点となっております。市民ニーズに対応した講座開催にあたっては、従来どおり、引き続き「公開」「生活創造」「国際理解」「情報通信」の各分野で実施します。また、生涯学習に、なじみのない人でも気軽に参加ができるよう、入門から初級、中級、応用など学習経験に応じた講座の企画をいたします。続いて、(3)(4)にありますように、勤労者に配慮した夜間、土曜日日曜日などの週末</p>

講座、高齢者、障がい者を優先した講座、社会変化に合わせた講座企画に取り組むとともに、ホームページや広報みよしを活用した情報発信を行っていきます。また子育て中の人であっても、講座に参加できる環境を整えるため、託児事業の充実に努めてまいります。

続いて、2番の講座開催事業につきましては、令和7年度春夏開講予定の講座内容を掲載してあります。

(1)の大学との連携公開講座では、「ライフステージとメンタルヘルス」「本当はスゴイ(自己啓発本)」の2講座を行う予定でございます。(2)生活創造、(3)国際理解(4)情報通信までに掲載した講座は、抜粋とはなりますが、現在計画中の講座です。なお、来年度の春夏講座の申込み及び募集は3月1日から行っていく予定です。令和5年度から市民の方々が身近な場所で気軽に参加していただけるよう、おかよし交流センターでも講座を開催しています。令和7年度につきましても、30講座を目標とし、開催する予定をしています。

次に、3番の生涯学習サービス事業では、引き続き、生涯学習についての「調査研究」「情報提供」「支援」の3事業を行ってまいります。調査研究では、受講終了後にすべての講座において、アンケートを実施し、新規講座等企画の参考にしていきます。情報提供では、関係各所への講座案内及び情報誌発行、広報誌、ホームページ等を利用して、情報発信に努めてまいります。

最後に4番、おかよし交流センターにおける生涯学習講座の実施状況についてとなります。令和2年度以降、おかよし地区においての受講申込者の数は、概ね全体5割近くを占めており、今後もこういった状況は続いていくものと考えています。受講生アンケート結果では、「自宅から歩いて行けるので参加が便利」「おかよし交流センターでの開催を増やしていただきたい」「サンライズでの講座はバスを利用しないといけないが、おかよしは近いので、気軽に参加できる。」などの意見を多くいただいております。三好丘はじめ、おかよし地区の住民にとっては、活動できる場が近くにあるということが最大のメリットになっているのでは、と思われまします。なお、令和8年度からは、新たに開館予定の「みなよし地区拠点施設」においても、講座開催を予定してまいります。説明は、簡単ではありますが以上となります。よろしくお願いいたします。

座長(廣田委員)

ありがとうございます。それでは質疑に入ります。只今の説明につきまして御意見、御質問あればよろしくお願いいたします。

佐々木委員

先ほど資料の1で説明いただいた中で、生活創造のところは、申し込みしても受講できた方っていうのは6割ぐらい

事務局	<p>で、4割の方は残念ながらということで落ちてしまいましたということになっていますが、今年度より来年度の中で、特に受けたくても4割の方は落ちましたというところの対策というか進め方のようなお話がありましたらぜひ聞かせていただきたいと思います。私受講生代表なんですけど、手相講座はすごい人気があって落ち続けて、はずれ、はずれと。だからそれを澤田先生が言われたように時期をずらして2回やってもらうとか、そうしてもらうと4割の方は喜ばれると思いますが。</p>
二子石課長	<p>はい。今お話がございましたけど、例えば現在実施中の新春講座の申し込み状況を見てみても定員10人の講座に対して申込者数が一番多いので38人。定員12人の講座に対して申込者数が30人とか、定員20人の講座に対して申込者数が43人とか、そういった講座もございました。このように人気の高かった講座につきましては、新春で行えば、次また春夏、秋冬講座においても開催するとか、あるいは手相の講座もそうですが、午前午後に分けて回数を増やして開催するとか、そういった工夫をしながら市民の方の要望にできるだけ応えられるように努めております。</p>
佐々木委員	<p>今、手相の話がありましたが例えば、午前にサンライブでやって午後からおかよしの開催とか、その場合、おかよしのほうだけいっぱいになったけど、こっちは定員に満たなかったとか、我々も回数的には増やしたり対応はしているんですけど中々傾向もしっかりと掴めないようなところもあり、おかよしのほうはすごい人気だったけど、こっちは空いてたというようなシチュエーションもあったりして、理由が分からないところです。</p>
二子石課長	<p>そういう意味ですと、落ちた方の、どの地区かっていう解析をしていただいて、おかよしのほうが人数がやはり多かったらおかよしで2回するとかですね。やはり、ちょっと事務局さんも大変だと思うんですけど、そういう解析をしていただきたいです。</p>
佐々木委員	<p>そうですね</p>
二子石課長	<p>やはり解析で、必要とされておられる地区のところを、特に今回2拠点、さらに来年度は3拠点になるような中ですから、ぜひ希望の方がどこの地区の方が申込み多いというようなところも、ぜひ見てくださるとありがたいなど。</p>
二子石課長	<p>はい、分かりました。ありがとうございます。また人気の講座につきましてはどういった方がとか、そのような傾向をうちの方で分析させていただいて、できるだけ多くの方に機</p>

座長（廣田委員）	<p>会が増えるかたちで、また考えていきたいと思えます。御意見ありがとうございます。</p> <p>その他、御意見、御質問等いかがでしょうか。</p>
佐野委員	<p>ちょっと私事も入ってしまいますが、やはり受けられる方の気持ちまでが分からないものですから、私も実際おおよしの方では大勢の方が入っていただいて、講座をやらせていただいています。サンライブの場合ですと、ちょっと人数が足らなかったかなっていうことを今、思い出します。</p> <p>そういう意味でも、やってみたいって言う方たちのことが講座をやらしてみないと分からないということで、やはり実際の実績がないと今課長がおっしゃったように、過去の外れた方がどれくらいいらしゃって、その分類がわかってくるとちょっとその辺のところもつかめるかなと私も思っています。おぼろげですが難しいことではあるなとも思っています。</p>
二子石課長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
座長（廣田委員） 佐々木委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>よろしいですか。別の話なんですけども、前回第1回の会議で、委員の1人の方からオンライン講座の話がございました。</p>
事務局	<p>ぜひオンラインですと、それこそ出かなくても、自宅で講座を受けることができるということで、ぜひオンライン講座は進めていただくといいと思うんですけど、その後の検討状況、実施の時期等はどうなりましたでしょうか。</p> <p>前回の会議でもオンラインという話は多くの御意見をいただきましたが、そのあと県内のオンライン講座の状況を調べてみたら、まだまだ実施している自治体はほとんどないような状況でございます。近隣ではネットで調べたんですけど、豊田市とか知立市がオンライン講座を行っているのを確認しました。</p> <p>豊田市の場合は、英文の多読講座ということで、ステップアップ編という形でzoomアプリを利用して、zoom meetingでの参加方式というような形で行っているということでございました。事情を聞いてみたら講師の先生がたまたま海外のほうに赴任になりまして、そこで講師からの要望もありまして、オンライン講座となったということであります。</p> <p>また、知立市の場合につきましては、料理講座でございましたがYouTubeに動画を公開して、参加をしてもらうという方法で、講座を行っているということでございます。</p>

<p>佐々木委員</p>	<p>本市につきましても何年度の、いつから実施ができるということは、今の段階で申し上げることはできませんけれども、今後オンライン講座の開講ができるように、さらに検討を行い、当然ですが、講師の先生方の御理解も必要になりますので、そういった調整もしていきながら、いかなる条件であれば実施可能かということも今後協議していきたいと思います。</p> <p>いいですか、そんなに遅れてるのかなというふうに今、意外だなと思ったんですけども。私は自動車関係の仕事をしていましたので、今も自動車技術会というところに入っています。そこは、今言われた zoom と、それから teams っていうのを使ってお金はもちろん振り込みで受講するとか講演会を聞くにはお金を払うんですけども。自宅で、実際のライブで、話を聞くことができる場合と、それから、あとで少し時間はずれても、自由な時間にそれを観ることができるというようなことを日常的にやってるんですけども。そういう意味では、是非取り入れていただいでですね。特に大学さんとの連携講座みたいなものはですね、そういうオンラインで 30 人と言わずにですね、100 人とか、そういう単位でも聞くことができると思うし、実際に質問とかするととなると、ちょっとそれだけの人数は無理なのかもしれませんけども、オンラインというのは大変いいツールだなと思うものですから、検討させていただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>座長（廣田委員）</p>	<p>ありがとうございます。他いかがでしょうか。</p> <p>私からよろしいですか。今、佐々木さんおっしゃったとおりで、オンラインに対する需要というのはすごく高いですし、みよし市とかというのは割と若い方も住んでらっしゃるとは思います、地域的には。そういう意味でいくとそういった方達へであったりだとか、もう受講生の方々も、こうおっしゃってますから、そういった意味ではオンラインを、全てのものに対してももちろんオンラインでできる訳ではないと思いますが、オンラインに適した講座であったり、その受講生の壁を破るという意味でもオンラインにすると受講生を増やすことができますし、そういった観点からも私もそういったことを進めていただくというのは、市の取り組みの講座の打ち出しとしてはすごく良いのではないかなと、受講生を増やすきっかけにもなるんじゃないかなと思います。</p> <p>あともう 1 点、情報と通信講座の部分においてなんですけれども、割と word、Excel とか写真の整理の仕方、あとスマートフォンの使い方というところの部分、今お出しいただいているんですけども、昨今、皆さんよく聞き慣れた言葉</p>

	<p>だと思っんですけど、AI がものすごいスピードで加速して発展してきています。</p> <p>実際 AI を使った何というか、実用例というのはもういくらでも今出てる状況がありますので、あと、先ほど資料 1 でしたかね、ここで見させていただいた、割と高齢者の方、50 代、60 代、70 代の方がウエイトを占めていて、20 代から 40 代までのウエイトがそんなにないという部分もあるんですけども、AI の活用方法であったりだとか、AI が何なんだろうというところからも含めて、何かそういった講座があっても、良いのではと私は思っています。多分需要あると思います。</p> <p>本当は AI やりたいんだけど、ChatGPT とか何か言葉を多分聞いたことある人も結構いると思います。ただそれをどうやって使っていったらいいのかとか、世の中どんなような種類があるのかとか、ものすごい数増えてますので、もう日単位で技術が進行していっています。これ例えば 1 年後に AI の講座やりますというかなり乗り遅れる感じにはなりません。その時の旬であるものをいかに伝えられるかとかは、これも若い人、あとはもちろん年配の方も興味ある方おられると思うので、そういった方達に向けて、今の旬の世の中のツールの御説明をしていただくような講座があっても私は良いのかなと思っています。すみません、私の個人的な意見ですけども。</p>
二子石課長	<p>ありがとうございます。ちょっとそのあたりもやっていると良いなと思いますので、その方面の、講師の方なども探していきたいと思います。</p>
佐々木委員	<p>実際に、この情報講座の中で少しやっていただいていますね。去年の秋に、AI を活用して、例えば絵を AI に命令して自分の思うような絵に修正してもらおうとかですね。そういうのがこの情報講座で、確か大津先生が、AI を活用した何とかがあっていう講座で、私去年の秋に受けさせてもらっていました。</p>
事務局	<p>5 年度、6 年度ですか。</p>
佐々木委員	<p>いや、年度で言えば今年度です。確か名前が大津先生の対話型 AI を使ってみようっていう講座で。ええ、これですね。ChatGPT で話題の対話型 AI。人間の問いかけに自動対応できる AI を使ってみましょうということで、私は受講してね、こういうふうに使えるのかっていうところで勉強させていただきましたので、是非これをさらに皆さんに今後も、今期はなかったような気がするんですけど、秋の時はありました。</p>

<p>事務局</p> <p>座長（廣田委員）</p> <p>佐々木委員</p> <p>座長（廣田委員）</p> <p>佐々木委員</p> <p>二子石課長</p>	<p>そうですね、対話型 AI ですね。</p> <p>それは、その講座の中の一つの時間帯を使ってというようなかたちだったんですか。</p> <p>いいえ、AI、対話型 AI を使ってやるのは、5回か6回分ぐらいですね。いろんな絵を修正したり、それからスマホに向かって話かけて、何か答えてもらうとか。それからこういう文書を作ってくれっていうと、AI が作ってくれる。それを実際に練習するという講座をとらせていただきました。なかなかよかったです。</p> <p>そういった部分のところを、もっとう、力を入れられてやってみてもいいんじゃないかと。</p> <p>どんどん進化するでしょうから、先生おっしゃられたように日々、進歩して行くところについていく必要があると思いますのでお願いします。</p> <p>ありがとうございました。他、皆さんいかがですか</p> <p>もう一ついいですか。違う話でいつもすいません。</p> <p>国際理解講座のところなんですけれども、ちょっと話をしたことあるんですけど、今みよし市はコロンバス市との交流をやっていて、コロンバス・みよし交流協会というのがあります。毎年こっちの中学生が行って、向こうから高校生の方と、交流代表の大使を呼んで交流をしておられる。</p> <p>これを是非ですね、英語の例えば、中級の講座の一つの中に、来られたときにぜひ入っていただいて。そもそもの中級の外国人の先生がおられても、了解を取ってもらえればいいかと思うんですけども、ぜひコロンバス交流の中の生の声を受講者に聞かしていただいたりとか、受講者のほうはちょうど私も英語の講座を受講していますが、show and tell いうかたちでですね、例えば、佐野先生のちぎり絵を見せまして、それを英語で説明して、みよし市ではこういうちぎり絵、こういうものがありますよとか。日本の伝統的なことをですね、紹介するとかを生徒のほうからすると生徒は勉強になるし、コロンバスの方も喜ばれると思います。</p> <p>せっかく交流をしてるわけですから、是非取り入れていただくといいなと思います。</p> <p>この協会の大地さんが代表の方で、彼ともいつもそんな話をしてまして、今度この会議があるから、生涯学習推進課のほうに言うておきますと言うておきましたので、是非検討をお願いしたいと思います。</p> <p>そうですね。タイミングが合えば、できるかなとも思います。本当にスケジュール的などが一番かと。実際にコロン</p>
---	---

	<p>バスの方が来て、日本の文化の説明、佐々木委員から意見出ました佐野委員のちぎり絵などは、多分本当に喜ばれると思います。本当にいいアイデアだと思います。あと、スケジュールさえ合えば、実現可能かなとは思っていますので。</p>
佐々木委員	<p>秘書室が日程調整はやってるそうですね。</p>
二子石課長	<p>そうです。</p>
佐々木委員	<p>もう今年の予定、今年は高校生の方はお見えにならないそうですけど、代表の方がこられるそうですから、秘書室と日程調整されれば、実現できるのではないのかなというふうに思います。</p>
二子石課長	<p>はい、ありがとうございます。参考にさせていただきます。</p>
座長（廣田委員）	<p>ありがとうございました。他はよろしいでしょうか。 はい、特にないようでありますので以上で本日の議題を終了したいと思います。 長時間にわたり、御意見いただきましてありがとうございます。</p>
佐野委員	<p>ちょっとよろしいですか。ごめんなさい遅くなりまして。私いま、ふと思ったんですが、前回だったかと思いますが、出掛けたくなる鉄道の旅みたいなもので実際にそこに行かなくても、先生がこちらにお教えくださって、お得な切符の鉄道の旅があるよとか、最新の紹介というか、その様な出掛けなくてもいい講座でローカル線の旅だとか。そのようなものを先生方をお呼びする講座があれば私は実際受けたいなと個人的には思っておりますので。 その辺のところお話しさせてもらえますか。</p>
二子石課長	<p>ちょっと今のお話で、資料の2の左下のところなんですけども、(2)の生活創造講座で1番上の美術館めぐりで楽しむ東京、これは、実際に講師の方が東京に住まわれてた方で、東京のほうで美術館を回られて、パンフレットなどを集めてきてくれました。</p>
佐野委員	<p>ありました。はい。</p>
二子石課長	<p>その講座を、昨年おかよし交流センターのほうでやらせていただいて、大変人気だったと聞いています。講師の方もちょっと時間が足りなくて話切れなかったとの話のため、今回また令和7年度に入れさせていただいて、しかも今度時間も</p>

	<p>二部構成で、たっぷりいこうかなと考えています。なので本当にこちらも、美術館というテーマから、美術館は東京のほうにいっぱいあります。それで、こっちの美術館行って、こっち行く間に、ここにおいしい料理屋さんがあるよとか。おいしいもの、ほかに甘いものがあるよだとか。そんなような情報も交えながらの講義で、前回聞かれた方は次、東京行くときに参考にします、というようなお話もいただきました。佐野委員から鉄道の話がありました、行かなくても楽しめるし、今度行く時の参考にもなるような、皆さんがお出掛けしやすくなるような。そんなシチュエーションもいいかなと今思いましたので。またちょっとそのあたりも、企画のほう検討させていただきます。</p>
佐野委員	<p>ありがとうございました。</p>
座長（廣田委員）	<p>ありがとうございます。では、事務局のほうへ進行お返ししたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
二子石課長	<p>本日は貴重な意見をいただきましてありがとうございました。 事務局のほうとしてはせっかくいただいた御意見、提案です、何とか、皆さん楽しんでいただけたればなど、また考えていきたいと思えます。また、お知恵貸していただければと思えます。どうもありがとうございました。</p>
典 礼	<p>以上をもちまして「令和6(2024)年度第2回みよし悠学カレッジ推進会議」を終了いたします。 最後に礼の交換をお願いいたします。皆さま御起立をお願いいたします。一同、礼。 どうも、ありがとうございました。</p>